

校長室だより

No. 17

平成28年9月1日(木)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとうよし かず
加藤嘉一

新たな自分を創る －2学期はじめにあたりⅠ－

ハードルをゆっくりまたぎながらフォームをたしかめていく陸上部の姿は、世界で活躍する陸上選手たちをタイムマシンで引き戻しているかのようです。7月の6年生が活躍した部活動の大会後から、陸上部の子たちは2学期（10月1日(日)）にある陸上大会に向けて着々と始動していました。



また8月末の中庭では、「1、2、3、4、・・・」とかけ声が聞こえてきました。校長室を出ると、かけ声にあわせて回すトワリング（火舞い）の軌道が見えました。これは、9月8日（木）から始まる5年生の山の学習の準備です。夏休みから、2学期に向けて静かに子供たちの活動が始まっていました。

助走のあった子もそうでない子も、新たな節目の始まりは新たな自分を創るチャンスです。わたしたちは、新たな子供の成長を後押しできるように、2学期の教育活動を創造していきたいと思えます。

市ゲートボール大会優勝・準優勝獲得

【地域指導者】天野さん、犬塚さん

うれしい知らせです。8月25日に開催された市ゲートボール大会で12連覇していた城南小学校を破り、六ツ美中部小学校ゲートボールクラブAチームが優勝、Bチームが準優勝の快挙です。すごい。



【優勝】Aチーム（6年）土屋こ、大河原、柴田、米津く、浅井、萩原ひ

【準優勝】Bチーム（5年）岸田、本田み、村松、阿部、本田け（4年）山本、伊奈た

オリンピック・パラリンピックがくれる勇気 －2学期はじめにあたりⅡ－

この夏は、オリンピックに沸いた夏でした。カヌー・スラローム男子カナディアンシングルで日本初の銅メダルを獲得した羽根田卓也選手（豊田市出身）が、あるテレビ番組に5人のメダリストとともに出演していました。その番組で、

羽根田選手の話す内容がわたしにとって印象的でした。

司会者の質問テーマに対し、羽根田選手の話す機会は複数回あったのですが、羽根田選手は、隣に座っていた伊調馨選手（女子レスリング）のことを何度も取り上げ話していたと思います。一番印象に残ったのは、『『2020』』ということばを聞き、何を考えるか、どうしたいと思っているか」と事前に番組側から頼まれて書いていたフリップです。羽根田選手は「佇まい」と書いていました。どうしてこの言葉を書いたのか司会者がたずねると、「隣にいる伊調選手は、史上初の4連覇を成し遂げるほどの強さを身につけ、厳しい練習にも耐えてきた選手のはずで、それにもかかわらず、自分が話しても本当に気さくで、飾らない。それでも選手としての大きなオーラがある。とても尊敬している。自分は、とてもそこまで強い選手ではないけれども、伊調選手のような「佇まい」を身につけることを目標としたい。」と話したのです。自身がメダリストでありながら、まるでこれからオリンピックを目指す一選手のようで、しかも、静かに真剣に人としての生き方を学ぼうとする話しぶりは、テレビによく取材慣れしている選手のコメントとは少し違ったものに映りました。

たしかに、伊調選手は他の選手から質問される場面もありましたが、おごりは一切見えず、飾らず素直に自分の思っていることや普段の取り組みを話していました。隣に座る羽根田選手から「尊敬している」といわれ、首を引っ込め、照れながら「恐縮です」と答える姿は羽根田選手の言葉と重なります。

よくスポーツ選手を取り上げた番組を見ていると、「見ていて勇気をもらいました」という言葉を聞くことがあります。わたし自身この「勇気」という言葉を聞くとき、このコメントを発した人はどんな気持ちを「勇気」と言っているのかふと考えることがありました。話される本人は伝えたい気持ちを「勇気」という言葉で表わしているのですが、何となく曖昧で、情緒的でもあり、少し流行りのきまり言葉のように聞こえるときがありました。

羽根田選手は一度も「勇気をもらった」とは言っていなかったと思います。しかし、羽根田選手の話聞いていて「選手から勇気をもらおう」とはこういうことだなと自分の中で納得しました。4連覇の偉業を成し遂げるまでにしてきた伊調選手の苦労や努力、羽根田選手の心を動かした伊調選手の「佇まい」（人となり）が、羽根田選手の今後の生き方に目標をもたらしたこと。

長い苦労の末、大きな成果をもたらす成功や成功せずとも伝わる努力の結晶は、大きな「勇気」を与えてくれることを、このオリンピックは改めて考えさせてくれました。パラリンピックも続きます。岡崎市出身の選手も出場します。2学期の初めにあたり、「やる気が沸いた」「がんばろうという気持ちをもった」「歯を食いしばってやってみる」など、子供が自分の心を前に進める「勇気」をもつ機会や教育活動を大切にしていきたいと思います。